

◆団体基本情報

No.	7	種別	公益社団法人	団体名	公益社団法人仙台市シルバー人材センター		
所在地	〒 980-0013 仙台市青葉区花京院1-3-2 仙台市シルバーセンター6F						
電話番号	022-214-6262		FAX番号	022-214-6264		所管 部局	健康福祉局 高齢企画課
団体ホームページ	https://webc.sic.ne.jp/sendaisc/						
代表者職氏名	理事長 白川 由利枝			設立年月日	昭和56年1月10日		
資本金・基本財産	0 千円		市の出捐額(割合)	0 千円 (0.0 %)			
設立目的	定年退職者等の高齢者の希望に応じた臨時的かつ短期的な就業またはその他の軽易な業務に係る就業の機会を確保し、提供することなどにより、その能力を活かした就業その他の多様な社会参加活動を援助して、高齢者の生きがいの充実と福祉の増進を図るとともに、活力ある地域社会づくりに寄与することを目的とする。						
事業概要	会員登録している高齢者に対する臨時的かつ短期的な及び軽易な業務の就業機会の確保及び提供						
評価対象決算期	令和4年4月1日～令和5年3月31日						

◆人員等の状況

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
①常勤役員数	2 人	2 人	2 人
うち市派遣	0 人	0 人	0 人
市退職者	2 人	1 人	1 人
②常勤役員平均年齢	63.0 歳	62.0 歳	63.0 歳
③常勤役員平均年間報酬	3,720 千円	4,500 千円	4,516 千円
④職員数	16 人	16 人	16 人
うち市派遣	0 人	0 人	0 人
市退職者	1 人	1 人	0 人
⑤職員平均年齢	53.9 歳	51.4 歳	45.5 歳
⑥職員平均年間給与	4,670 千円	4,344 千円	4,305 千円

◆主要財務データ

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
①当期経常増減額	10,037 千円	5,658 千円	10,704 千円
②当期経常外増減額	0 千円	4 千円	0 千円
③当期一般正味財産増減額	10,037 千円	5,662 千円	10,704 千円
④一般正味財産期末残高	128,214 千円	133,876 千円	144,580 千円
⑤指定正味財産期末残高	0 千円	0 千円	0 千円
⑥正味財産期末残高	128,214 千円	133,876 千円	144,580 千円
⑦長期借入金残高	0 千円	0 千円	0 千円

◆市の財政的関与

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
①市からの補助金	63,744 千円	53,909 千円	54,421 千円
②市からの委託料(指定管理料含む)	68,437 千円	61,048 千円	76,516 千円
③市に対する収入依存度	11.72 %	10.52 %	12.18 %
④市からの借入金	0 千円	0 千円	0 千円
⑤市からの債務保証に係る債務残高	0 千円	0 千円	0 千円
⑥市からの損失補償に係る債務残高	0 千円	0 千円	0 千円

◆主要事業一覧及び概要

事業名	事業概要	令和4年度事業費
高齢者に対する就業相談及び職業紹介事業	臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業を希望する高齢者のために、就業の機会を確保し、提供している。 (会員数：R5.3.31現在 2,807人)	1,045,705 千円

◆経営評価の総括

項目	外郭団体による総括	所管局によるコメント
1. 公益的使命・市が期待する役割への対応	依然として少子化の進展には歯止めがかからず、超高齢、人口減少の社会において、シルバー人材センターの果たす役割が依然大きい。地域の特色や実情を踏まえ高齢者が就業等を通じて地域社会に貢献できる仕組みや、高齢者の多様なニーズに応えるための就業開拓を進め、事業の拡大を図るとともに、中・高齢者の就業促進を目的に、3年度まで市が行っていた事業の一部を継承し開設した「生涯現役サポートセンター」においても多様な働き方のサポートを行い、ますます市民に必要とされるセンターとなるよう努める。	生産年齢人口が減少する少子高齢社会において、地域や社会におけるさまざまな活動の担い手として高齢者の役割への期待が高まっている。本市の高齢者保健福祉計画においても「高齢者が生涯活躍することのできる環境の整備」を進める取り組みとしてセンターの事業を掲載しており、今後も高齢者の多様なニーズに応じた就業機会の提供を進め、公益性の高い事業を行う等、社会が期待するセンターの役割は年々増している。
2. 業務・組織管理	市関係機関・団体と連携し、コロナ禍における新しい生活様式に対応して必要となる業務の引き受けを積極的に取り組んだ。人手不足となっている介護・子育て分野等において就業開拓に努め就業機会を創出し、また会員を対象に行った就業状況等の意向調査で未就業者の希望職種を確認し、就業機会の提供に取り組んでいる。	新型コロナウイルス感染症に配慮しながら、「会員の確保」と「就業機会の拡大」に努め、従来の請負・委託に加え、シルバー派遣事業等多様な就業形態を提供してきた。また、コロナ禍において発生した新たな業務や、社会から求められている新たな分野への業務のチャレンジ等、事業運営強化が図られている。引き続き、適切な業務運営に取り組まれない。
3. 財務状況	コロナや適正就業への取り組みにより、事業収益は3期連続で減少してしまった。しかし、会議やイベントなどが引き続き中止となったことで費用が抑えられたことや、物価高への対応として事務費率を見直したことなどで、財務状況は安定している。また、インボイス制度への対応として特定費用準備資金の積立てをはじめ、また事務手数料の引き上げをし自己財源の確保にも取り組んでいる。	新型コロナウイルス感染症の影響などにより、事業収益が減少しているが、費用削減から財務面の悪化は避けられている。令和5年度から導入されるインボイス制度はセンターの事業にとって影響は大きいことから、今後を見据えて特定費用準備資金への積立てや、手数料の見直し等により財源の確保に努めている。引き続き、会員の確保や就業先開拓など財務状況の安定に取り組まれない。
4. 今後の方向性及び課題	インボイス制度の導入や「特定受託事業者に係る取引の適正化等に関する法律」など、従来にはなかった新たな制度への対応により、シルバー事業をめぐる制度・環境等が大きく変わることが予想される。新たに策定した「中期経営方針2023」に基づき、センターの事業を推進し、制度変更への的確な対応、運営基盤となる財源の確保を図り、より一層、地域や高齢者から必要とされる組織を目指していく。	急速に少子高齢化が進む中、高齢者の社会を支える側としての役割に期待が持たれており、その重要性は今後も増している。高齢者に就業機会を提供する当団体の事業は、高齢者の貴重な知識・経験や技能を地域社会へ還元するとともに、会員の社会参加や生きがい作りにもつながっている。高齢者や当センターを取り巻く環境は今後も変化していく中でも、今回新たに策定した中期経営方針2023に基づき、就業機会の確保や会員の確保など、経営基盤の安定化に向けた取り組みをさらに推進されたい。